

警城時報

日七十
編輯長 田中弘成
印刷所 警城時報社
發行所 警城時報社
廣告部 警城時報社
電話 一三三三
郵政掛號 警城時報
郵便番号 一三三三
印刷部 警城時報社
電話 一三三三
郵便番号 一三三三

橋下小路の火事

延焼實に三時間

平市近來の大火

十七日午前二時半平市橋下宅、製材工場、佐藤氏製材小路金田久馬氏経営日進堂工場、事務所、色川氏倉庫製材工場と内郷村小島佐藤氏焼いたのみに午前五時半三平氏経営の製材工場の境鎮火した。火が約三時間に界附近から火は見る互つて猛威を逞しうした平(う)ちに擴り木材に燃市最近の大火で、神谷、飯え移り西隣の色川一氏経営野、内郷、好間、赤井等隣の木材倉庫に延焼し之を全村消防組は勿論四倉、湯本燒し附近一帶危険に瀕した植田、錦等の自動車ポンが精銳消防組員必死の活も來援した。平署では目下動により辛うじて金田氏住原因損害取調中である。

佐藤氏と金田氏

火元ナスリ合ひ

損害約十萬圓

平署では火事現場から關係に主張してゐるので未だ何者を召喚目下佐藤司法主任から發火したとも判然し菊地部長刑事主任となつてない。損害は製材器具約二原因を調査中であるが、金田、木村その他約八萬圓田氏側では佐藤氏の工場かで合計十萬圓に達する意見ら發火したと主張し、佐藤氏側では之を反對説を強硬

關東北防空演習

平市の指導計劃

防空演習は十六日から實施されたが十六日以後の指導

- 計劃表左の如くである。
- △十六日午前十二時
一、防護團本部開設
午後七時一〇分九時
廣告、看板裝飾燈管制狀
況視察(本部)市内一圓
- △十七日午前一時一〇分四時
街路燈の消燈並に殘置街
燈の電球取換(各分團)
午後七時一〇分八時半
門燈、軒燈の管制狀况視
察(各分團)市内一圓
- △十八日午前十二時
警戒警報發令(警察)
右警報傳達(本部)各分團
長警報班の動作(各分團
警報班)各分團並に關係
團體
- 午後三時 空襲警報發令
空襲警報傳達(警察本部)
一時一〇分 防火並交
通整理班の演習(第一分
團)公會堂敷地
- 二時半 空襲警報解除(本部)
- 三時一〇分 防衛並に
救護班の演習(第二分團)
第三小學校庭
- 四時半 空襲警報解除發
令(警察)
- 右警報の傳達(本部)
七時一〇分 警戒管制狀
況視察(本部)並各分團
各工場の施設狀況巡視(同
右並警察)市内一圓各
工場
- △十九日 午後零時半
空襲警報發令、空襲警報
傳達(警察本部)
- 一時 防衛並に救護班の
演習(第三分團)
- 二時半 空襲警報解除(本部)
- 自動學校庭
- 三時 防火並に交通整理班の演習(第五分團)第三小學校庭
- △二十日 午後三時
空襲警報發令(警察)
- 空襲警報傳達(本部)
- 一時一〇分 防衛並に救護班の演習(第一分團)訓育院附近
- 空襲警報解除(本部)
- 三時一〇分 防火並に交通整理班演習(第三分團)
- 空襲警報解除發令(警察)
- 空襲警報傳達(本部)
- 舊城跡記念樹附近
- △二十一日 午後六時一〇分
警戒警報發令(警察)巡
迴 七時半一〇分研究會
(本部)各分團關係係班
員、市内一圓各分團區毎
△二十二日 午前八時半
空襲警報發令(警察)
空襲警報傳達(本部)
九時一〇分 防火班の
演習(第五分團)第四小學
校附近

三時半 防火並に交通整理班の演習(第二分團)第三小學校庭
△二十日 午後三時
空襲警報發令(警察)
空襲警報傳達(本部)
一時一〇分 防衛並に救護班の演習(第一分團)訓育院附近
空襲警報解除(本部)
三時一〇分 防火並に交通整理班演習(第三分團)
空襲警報解除發令(警察)
空襲警報傳達(本部)
舊城跡記念樹附近

平小鐵道問題について

平市民諸君に告ぐ

八星氏は實業家でありながら片濱運轉の自動車から特に立派な自動車に攻撃されて居る。而して諸君は平市を發見しないといふと線路を演説された右様平市民に激しく攻撃されて居る。業家として平市民の立場を平市が行政、財政、教育、衛生、交通其他商業等

十時半一十二時 防衛並に救護班の演習(第五分團)右同
空襲警報解除傳達(本部)
午後十時一十二時半 防火班の演習(第四分團)中鹽分團關係工場
午後三時一四時 防衛並に救護班の演習(第四分團)
十時半 講評(本部)

白衣の勇士六十名

けふ平驛通過

皇軍第一線で活躍し名譽の五十分平驛通過仙臺市に到着した第二師團白衣の勇着した。士六十名は十七日午後一時

漁夫に化けてゐた

留置場破り犯人

平署では十六日山形縣赤湯市山口喜代治(二)を捕へ署脱走犯人同縣東陽郡郡宜た、同人は今夏以來小名濱町字東野一六二生れ吉平町川村崎崎工場外十數軒が未だ病床にあるので十六

神社拜殿で格闘

投げつけて重傷

草野村嶺谷區長門馬虎之助(六〇)は去る二十七日夜同村氏神様の大神へ行つて同村農松崎末藏と口論末藏を拜殿から引きつり下して賽郡下第二方面青年學校生徒に投げつけた事件に關し約五百名の秋期聯合演習は

青年 校生 秋期檢閲

此際平市市民は運は天にありと歡び居つては其股腹其發達は小名濱に獨占する恐れがある。近頃は日曹會社の工場が新設する、ことに發電所の動力なる火力發電所が差當り三キロワット其動力を有する發電所が建設する、管である、平市のよなには徒らに發電事業等に反對する、小名濱人は同様の事がない、小名濱を最も近々結び付けるは交通機關の完備である、一日も早く平小鐵道を急ぐ次第である、交通機關の發達は其都市の盛衰に大なる關係を有する、數年前迄は平を中

謝近火御見舞

平市搔槌小路
石城中小商工互融會

謝近火御見舞

平市役所

謝近火御見舞

平市搔槌小路
長谷川浩太郎

謝近火御見舞

平市田町
大貞

謝近火御見舞

平市田町
藤田女學校

謝近火御見舞

平市田町
磐城新聞社
蓮沼龍輔

謝近火御見舞

平市搔槌小路
堀江工業株式會社

謝近火御見舞

平市搔槌小路
魁文堂

謝近火御見舞

平市搔槌小路
辯護士 山野邊義政

近火御見舞御禮

平市搔槌小路
阿部政右工門

近火御見舞御禮

平市搔槌小路
近盛馬目支店

謝近火御見舞

平市搔槌小路
志賀子之松

類焼御見舞御禮

謹啓今曉火災の際は倉庫及び木材を
類焼致し候て消火致し候事は早速御
馳付多大なる御盡力被成下御蔭様
有難く御禮申上候
一々拜趨御禮可申述の處混雜中御尊
名御伺洩も有之可く存じ候間略儀
ながら紙上を以て御厚禮申上候敬具
昭和十二年十一月十七日

平市搔槌小路
色川木材株式會社

御禮

今曉火事の際は早速御見舞御盡力を
賜はり有難く御禮申上候
一々拜趨御厚禮可申述の處混雜中
御尊名伺ひ漏れも可有之乍略儀以紙
上御挨拶申上候

佐藤製材工場

佐藤三平

謝近火御見舞

平市搔槌小路
湯本信用無盡株式會社
平會場

近火御見舞御禮

平市搔槌小路
高橋活版所
高橋勝吉

近火御見舞御禮

平市田町
鈴木耳鼻咽喉科醫院
鈴木正男

近火御見舞御禮

平市搔槌小路一
ライト寫真館
高田二泉

近火御見舞御禮

平市搔槌小路二四
第一生命平事務所
所長 田卷榮一

蓄膿症 快鼻湯

本劑は幾多の藥劑あり雖他藥の及ばざる
良藥で、左の病症の方は一時も早く服用
され快癒されん事を御獎勵致します
蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多加症
頭痛、肥厚性鼻炎に靈効あり。
其他鼻骨彎曲症並に中耳炎は偉大なる神効ありと賞
讃されて居ります

快鼻湯製造元 水野藥局
責任製劑者 藥劑師 水野清一
電話六九九番

一、煉炭 各種 特價販賣

一、豆炭

薪炭大暴騰ノ折カラ御家庭ノ經
濟燃料トシテ御勵メ致シマス

阿部石炭商店
(電話三十七番)

吉田眼科醫院
平市紺屋町(電話六八番)